

# Meisei POTEKA NEWS

【No.16】2022年(令和4年)11月25日

日

## POTEKA 観測データでたどる、台風の足跡

2018年9月4日、台風21号の中心が大阪湾を通過しました。25年ぶりに**非常に強い**勢力で日本に上陸した台風21号は、風水害保険金の支払額が**過去最高額**となった台風です。

その額はなんと、**1兆円越え** 近畿地方を中心に記録的な暴風と高潮をもたらし、各方面に大きな被害あたえました。

今回は過去にPOTEKAがとらえた台風21号による気象変化(気圧と風)についてご紹介します。

### 【気圧のピーク値の出現】

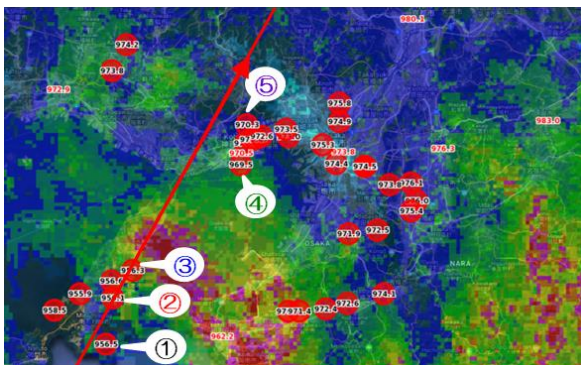
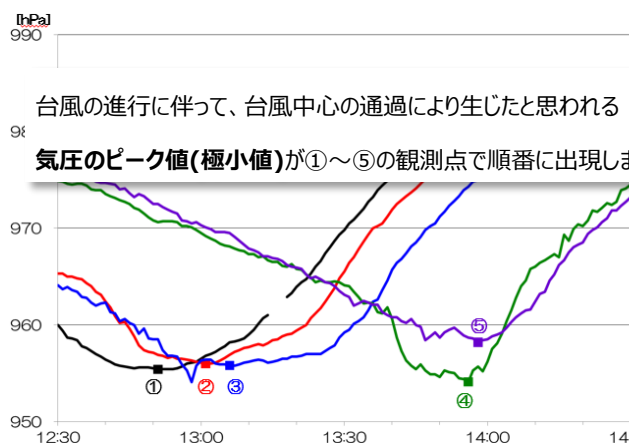


図1 大阪湾周辺 POTEKA



台風の進行に伴って、台風中心の通過により生じたと思われる

気圧のピーク値(極小値)が①～⑤の観測点で順番に出現しました。(図1)

また、①-⑤の距離は約60km、ピーク値の出現時刻の差は1時間7分であったことから、台風はおおよそ時速54km/hで進行していたと推測できます。

### 【風向の変化】

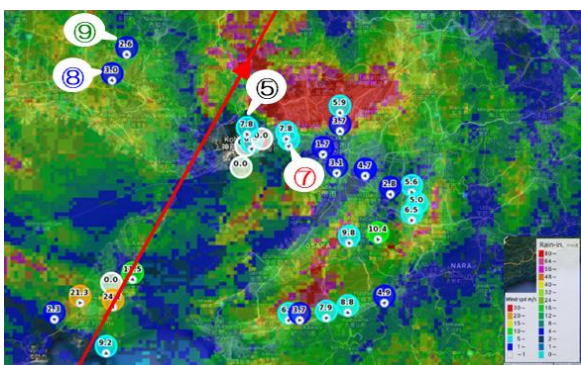
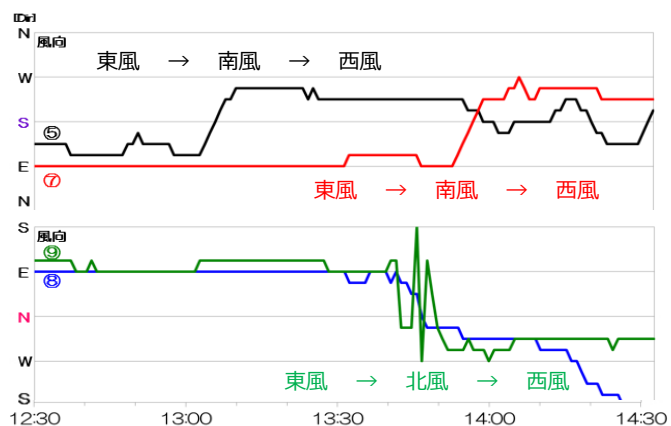


図2 14:00の平均風速/風向観測値



4観測点では台風中心周囲の反時計回りの地上風のの流れをとらえており、台風中心が⑤と⑧の間を通過したことがわかる。

観測点1ヶ所ではわかりにくいですが、複数の観測点があったことで、**気圧のピーク値の出現**や、**風向の変化**によって大阪湾周辺地域で台風がどこを通ったのか知ることができました。

毎年、各地に大きな被害をもたらしている台風ですが、POTEKAをきめ細かく設置することで各地域での台風の動きや気象変化をとらえることができ、災害が起こる前に対策を講じることができるのではないのでしょうか。